

ヒメツルソバ (姫蔓蕎麦)

名前の意味：ツルソバに似て全体が小さいもの。姫は姿が優しいものにつける。ツルソバは、つるになるソバの意味。

分類：双子葉類、タデ科、ギシギシ属

(タデ科の栽培植物：ソバ)

好きな場所：日当たりのよい道端

分布：本州、四国、九州

原産地：ヒマラヤ

特徴：地面をはう茎、赤っぽい色の模様の入った葉、金平糖のようなピンクの花



金平糖

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：5枚、離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：8—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：ミズヒキは、茎が立ち上がる。ミゾソバやイシミカワは、茎に刺がある。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)